

R18





付き合って五か月



俺は受験
日向は部活
会えない時間が増えた

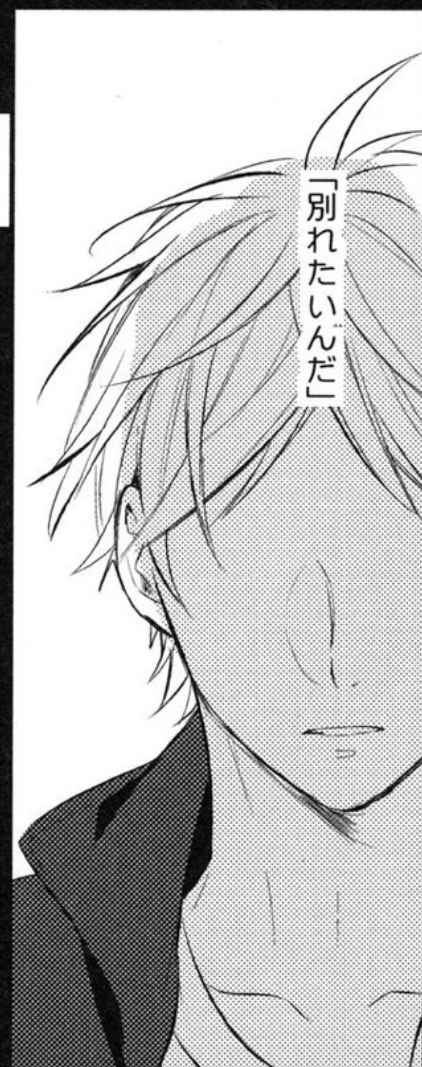


東京の大学に
進学が決まった頃には
月に一度くらいしか
会えなくなつて

一月の終わり頃

三年の
最後の練習の日

日向に
別れを切り出した



「別れたいんだ」

日向は



消えそうな声で
わかりましたと
言つた

必死で抑えた

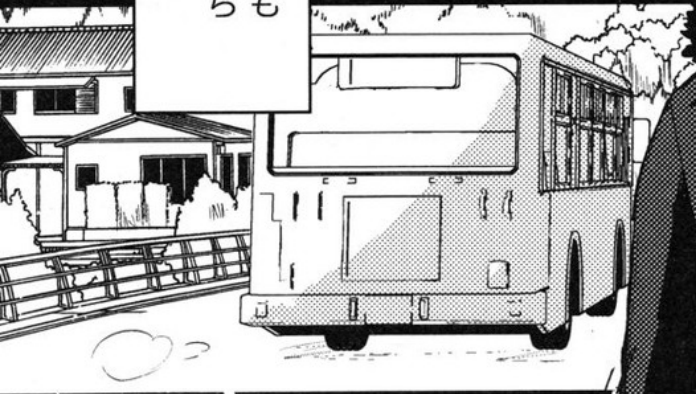
呼び止めて
抱きしめたくなる
衝動を

バスに乗り込む
日向の背中が
あまりに小さくて

日向が
バスから
飛び降りて

別れたくないと
泣きながら
走ってくるような
気がして

いつまでも
その場から
動けずに



Once again
Never again

もう二度と触れ合うことのない
日向の体温を思い出していた





合宿最終日の
バーベキューに
卒業生まで
呼んでくれるとはな
…参加していいのか…

いいじゃん

タダだし

お前なあ



大地は練習にも
顔出すのかと
思ったけど

行かなかったん
だな



先生には
会ったか？

会ったよ

五時くらいに
始めるから
体育館に来てくれって



新入生が
ゴリラにビビッて
逃げちゃうかも
しれないしな

あ？

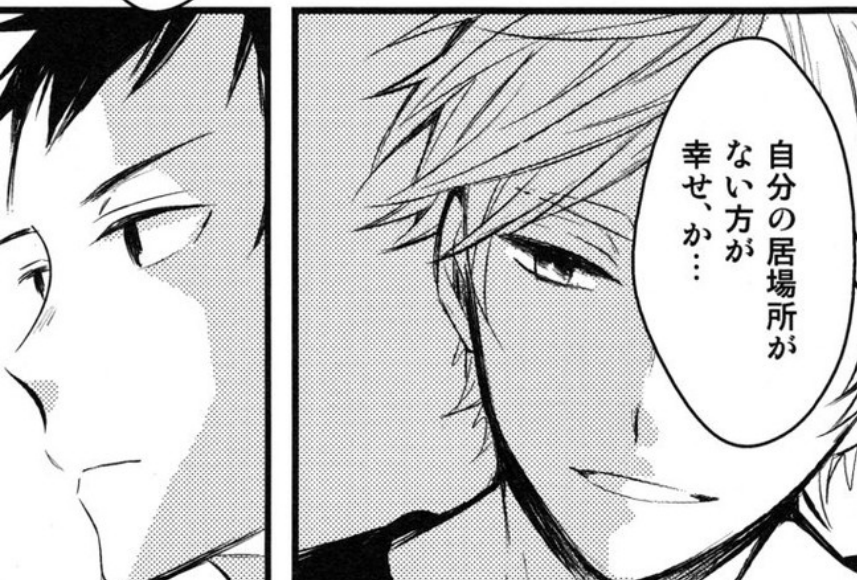
でも
大地らしいな



俺が顔出したら
あいづらも
やりづらいだろ

あいづらには
あいづらの
やり方がある

自分たちの居場所が
ないことの方が
卒業生にとつちや
幸せなことだ



自分の居場所が
ない方が
幸せ、か…





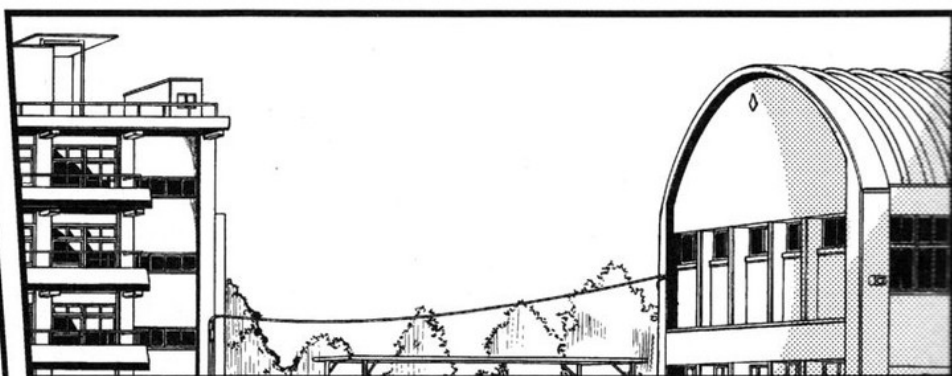
思い出さないように
していた



大学に進学してから
わざと
バイトや授業を
がむしゃらに詰め込んで



どこへ行っても
思い出す

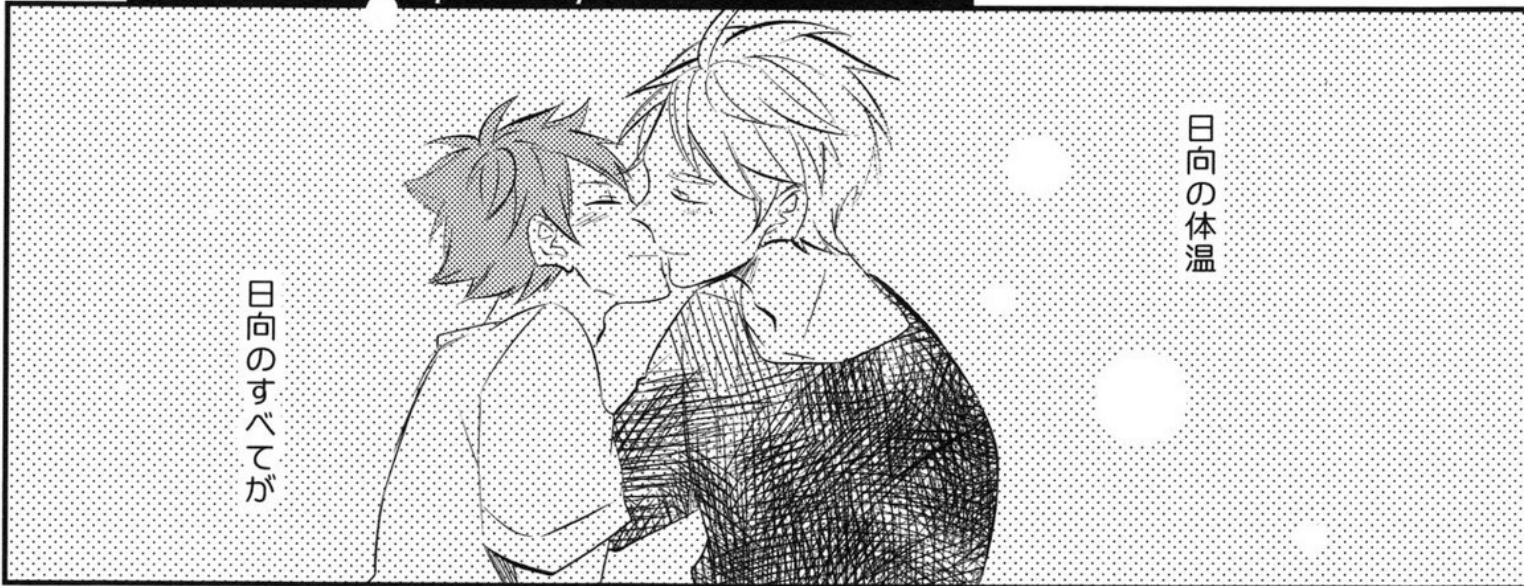


そんな努力

無駄だったな



日向の笑い声



日向の体温

日向のすべてが



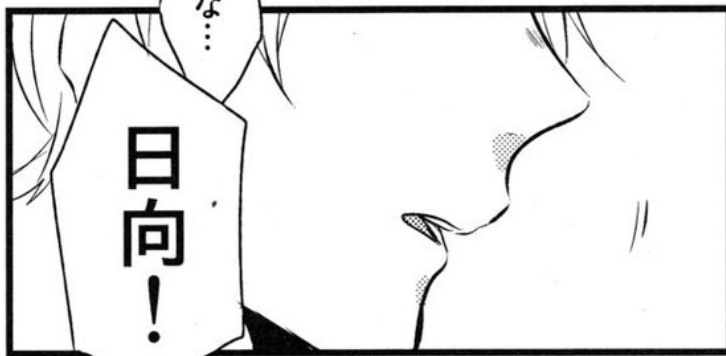
胸に焼き付いたまま







ひな…



日向!



もー
やっと
見つけた!

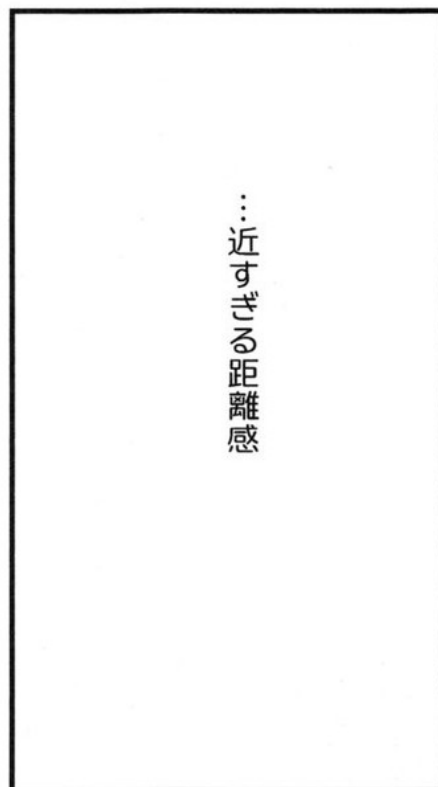
大丈夫…!
ごめん
すぐ行く

ごめん…!

遅いよ…

って、
話中だった…?



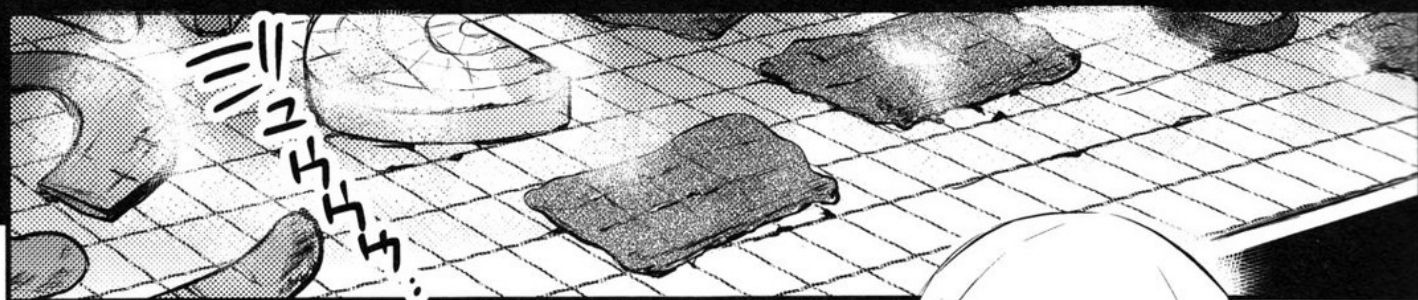




自分でフツッた
癖に

日向に
裏切られたような
気持ちになってる

自分勝手な感情に
吐き気がする



肉焼けましたよ！

先輩から
食ってください！

旭さん！
牛と豚
どっちから
いきますか？

いや…
今はお前らが
先輩だろ

自分で
取るよ

田中！
俺焼きそば
食いたい

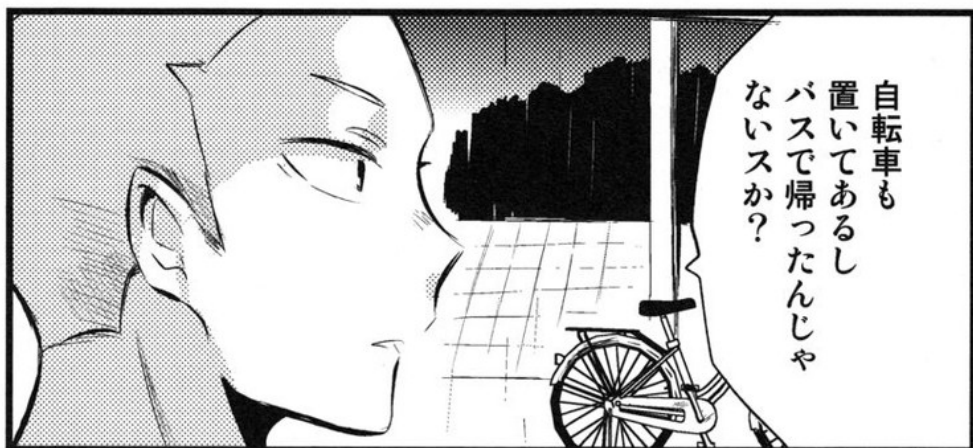
スガさん
一人だけ
わがまま言わないで
ください





俺なんか
いなくても...





校門から出るのを見てない

日向は
どんな雨でも
自転車で帰ろうとする

多分、日向はまだ
帰ってない……

日向……!

自転車?

この雨ん中?
バカじゃねえの?

や、
自転車の鍵が
なくて……

部屋かと思って
探しに戻ったん
ですけど

何してんの……
もうみんな帰ったよ

急がないとバス
間に合わないだろ

忘れてたんだな

今日日曜だから……
最終バス……もう
ないんです

それを……

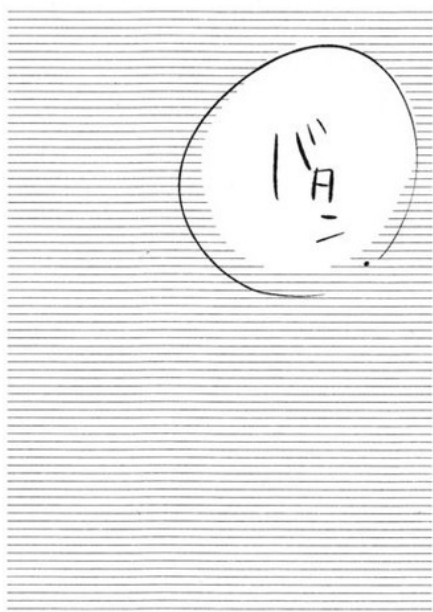
菅原さん
こええ

へあ……











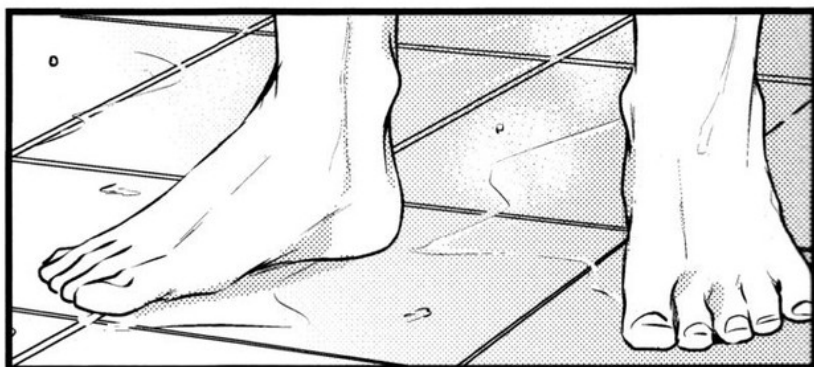
バカか俺は

何の為に
別れたと
思ってたんだよ……



何やってんだ俺

未練たらたらで
日向困らせて……



わーっ

ひ、日向ー

トラップ
でも……



わーっ

とりあえず
部屋に戻ったら
いつも通り
優しい菅原さんとして！

普通の先輩と
後輩ノリで
接しよう！





だけど日向はきつとバレーをやつてる時間俺を忘れてるそんな日向を責めたくなつた

不安で寂しくて



日向と俺にはいつだって温度差があつた

日向と忙しくて会えない日が続いた時



こんな弱い俺はいつか必ず日向の足を引っ張る



そう思つたら

どうしようもなく怖くなつた



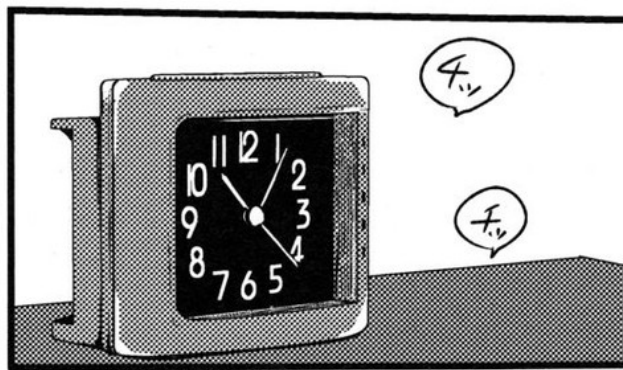
ほんとうは



まだ
どうしようもないくらい

すきだ…





マズイ……



別れてからは
もちろん
日向と別れる前から
ご無沙汰だったし

なんつーか……

今世紀最大の
ビックウェーブが
股間に集中してる……!

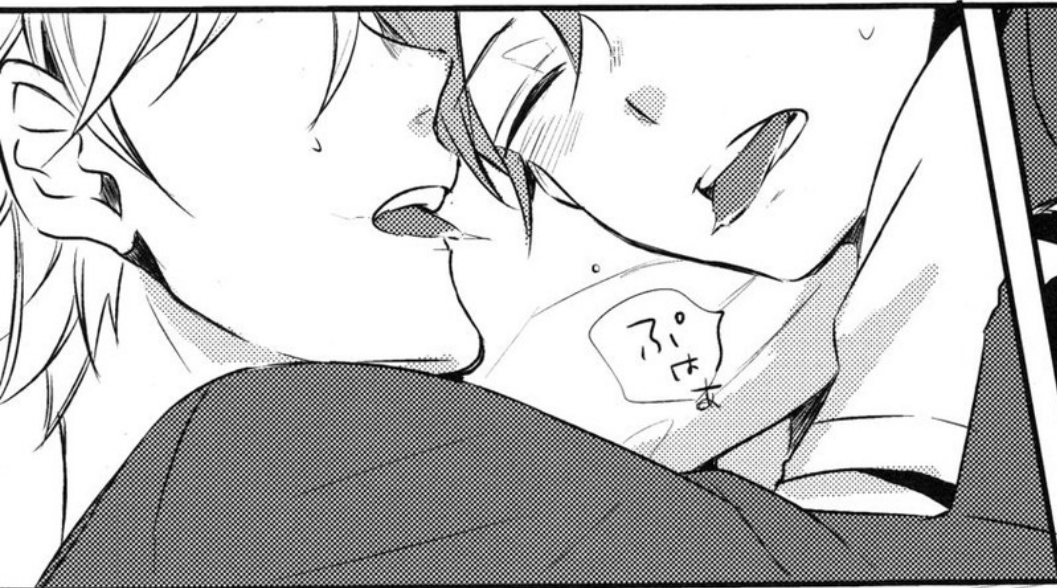
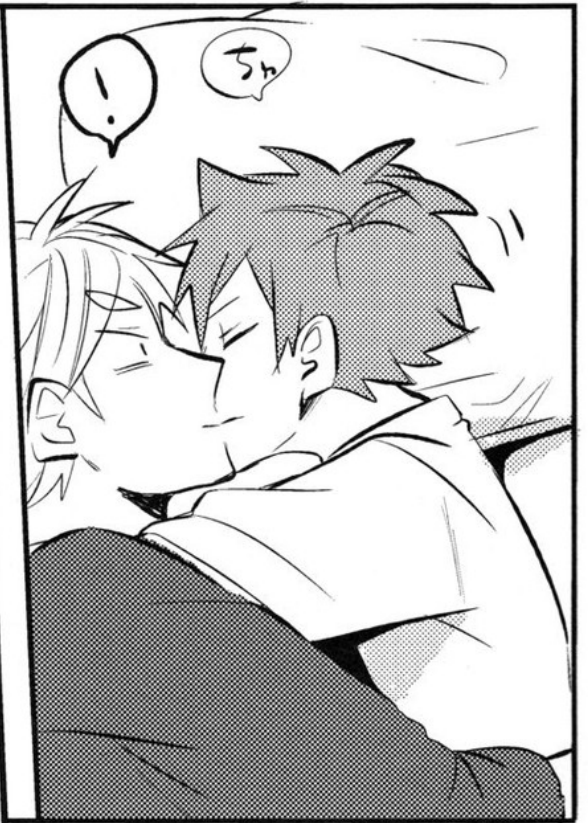


いやいやいや
落ち着け!

世の中には
手をだしていいものと
手を出しちゃダメなもの
があるだろ!

小さいころ
お供えの団子くって
怒られた過去を
忘れたか!



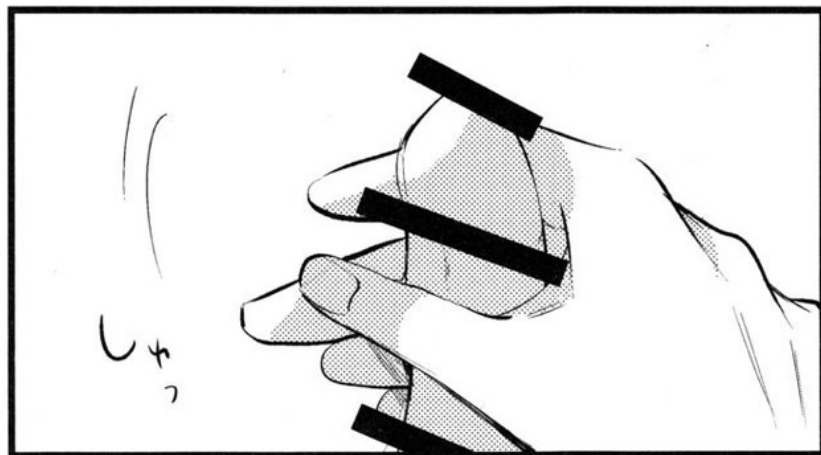


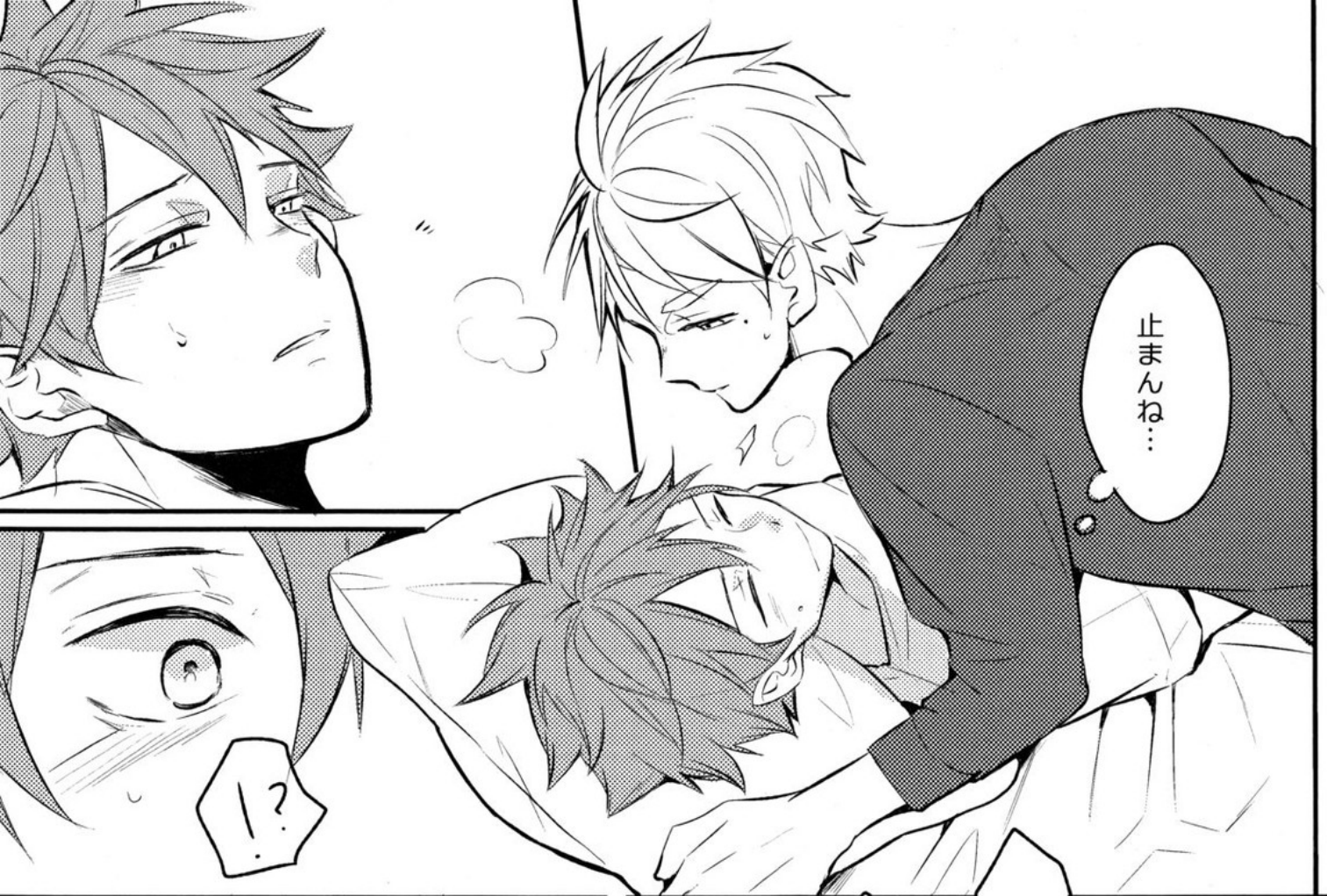
さすがに...
起きてるのか...?

...これは

寝ぼけてた
だけかよ...

寝てる...









やりたい
からだよ

菅原さん…
なんで…

こんなの…



そんなに
嫌なのかよ…

お前から
してきたくせに…



菅原さん…!

いやだ…!



は、



菅原さん
らしくない…!



それが

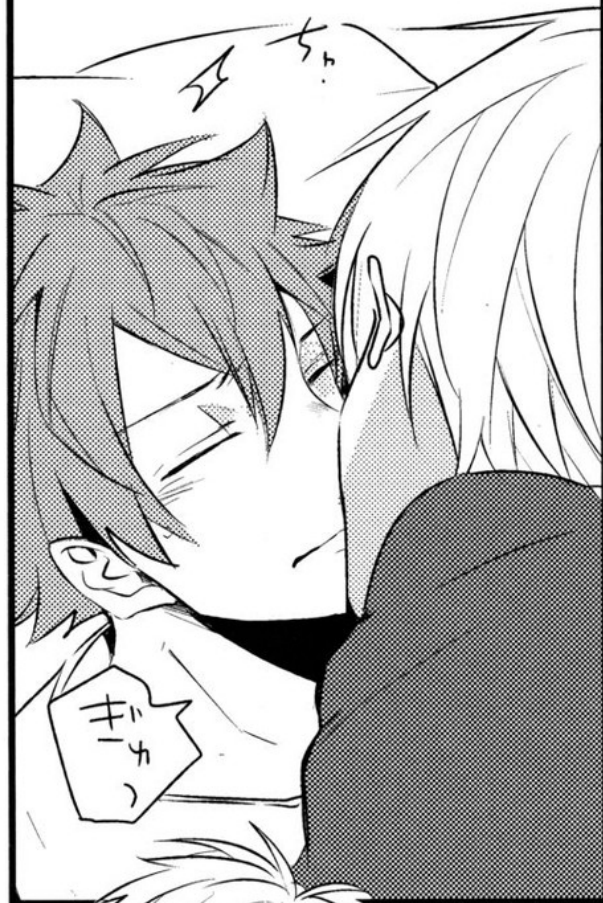
俺?



俺らしく
ない…??

俺は
日向の嫌がることを
しないって?











お前こそ…

別れたいって
言った時

何も言わなかった
くせに



俺より大事なものが
いっぱいあるくせに…

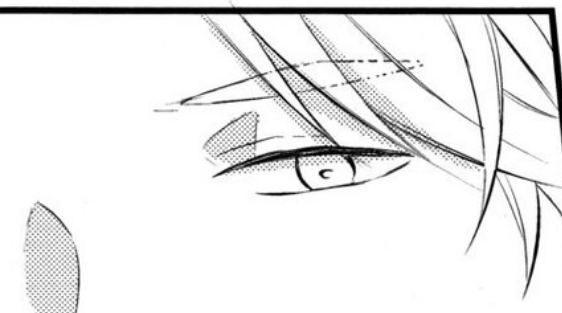
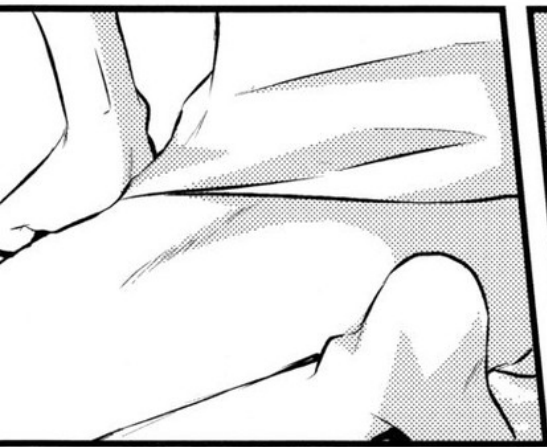
なんで
今更
泣くんだよ…



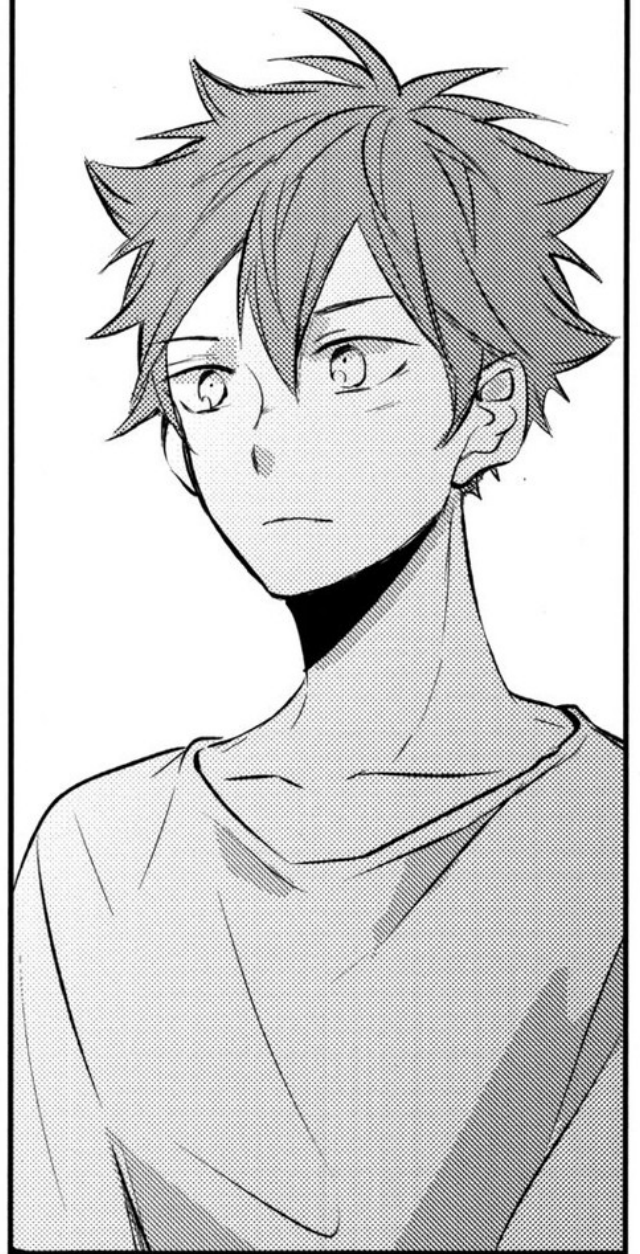
なんで今更

どうして今更

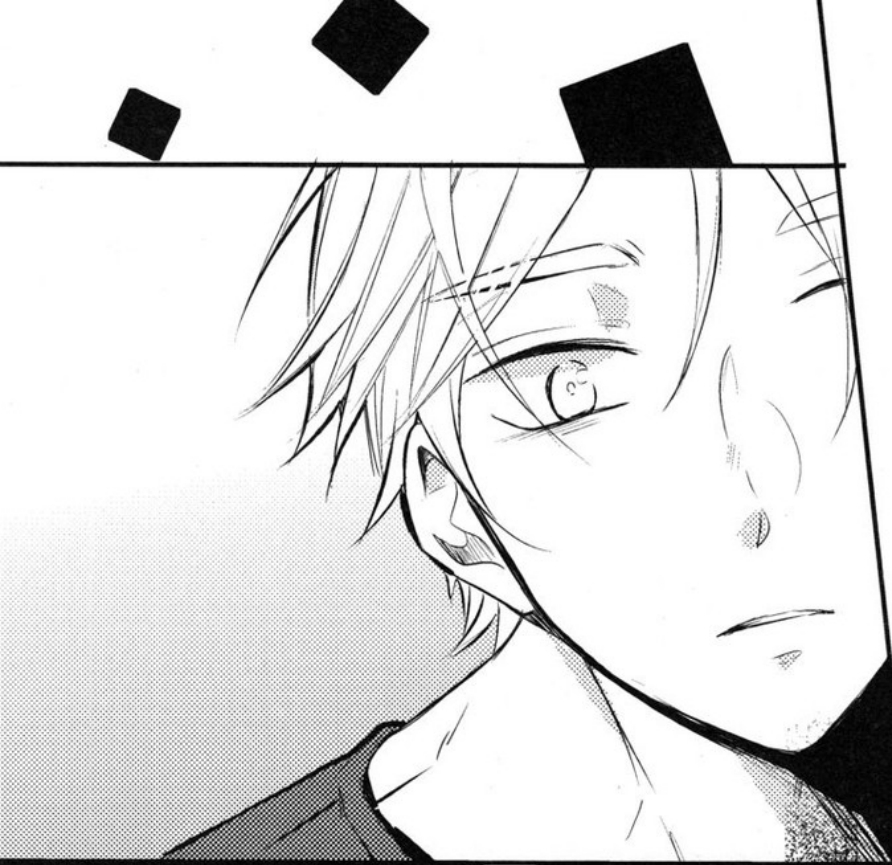
こんなに
きつく抱きしめ合うんだろう











菅原さんも
きつと

まちがえてた…





もうすぐ
始発のバスが出る

きっと
日向はバスに
乗らない

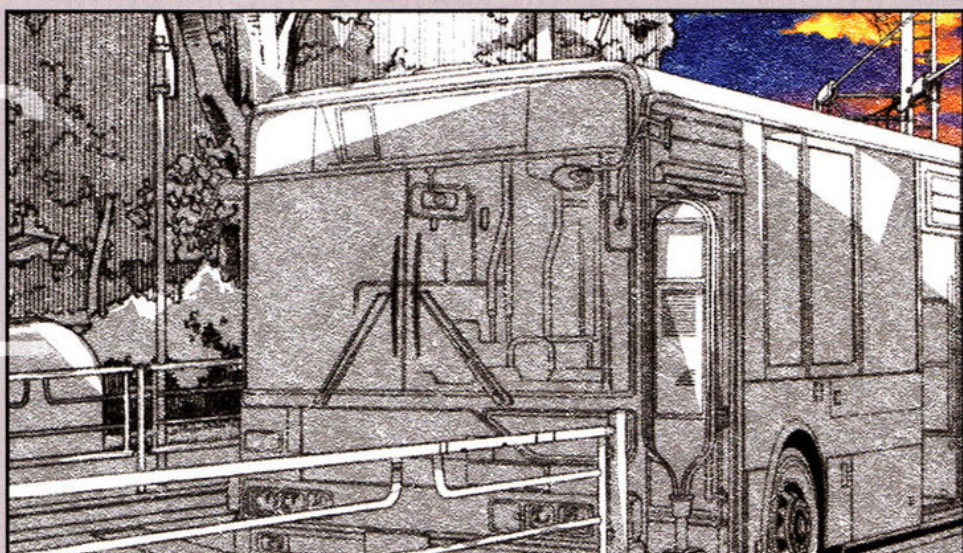
Onceagain Neveragain
2018/5/4
catsnake/75
catsnake.508@live.jp
印刷BROS

もう一度
お前の体温を知ってしまったら

俺はきっと

二度と日向を離せない

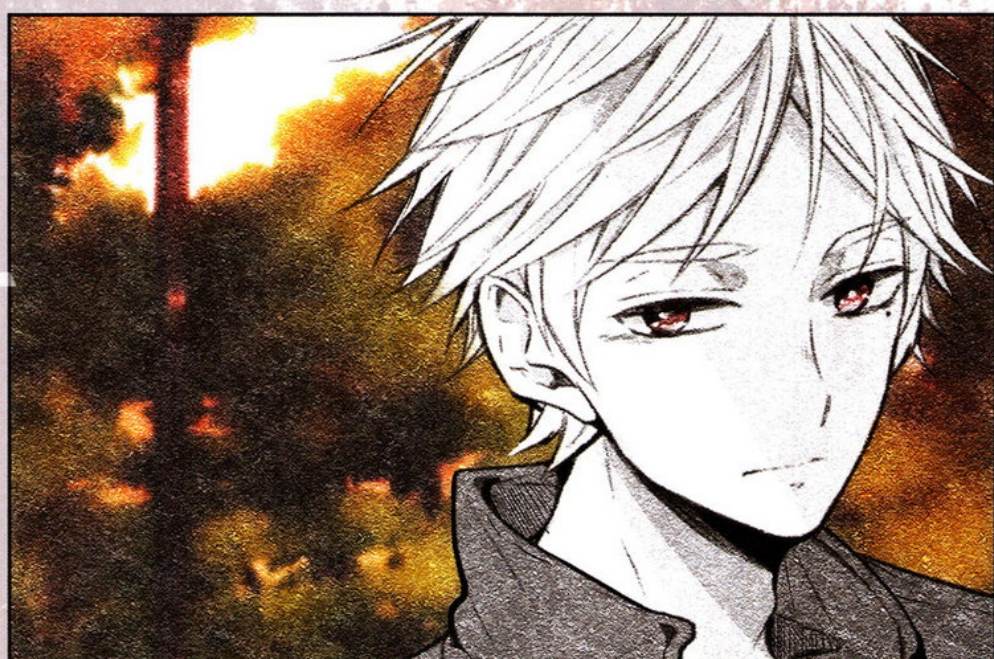
feel em
thout you



「さよなら、日向」

バスに乗り込む日向の
背中が

あまりに小さくて



抱きしめたくなる衝動を

必死で抑えた